

兵庫県水産技術センターだより

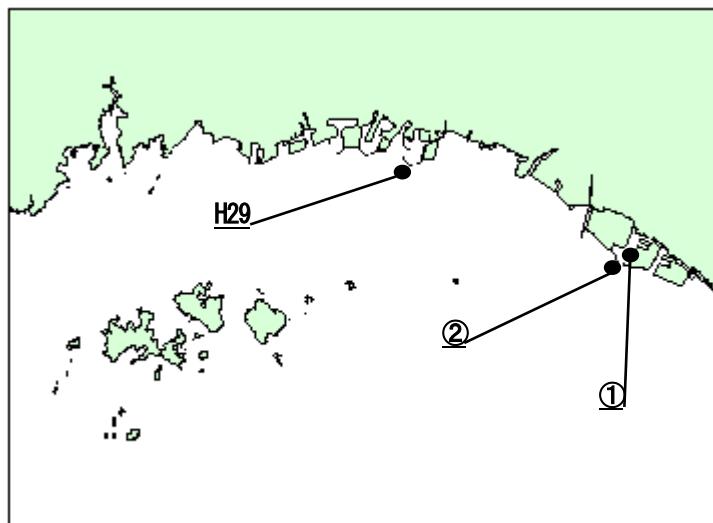
赤潮情報 AK-05-13号(播磨灘北部:臨時)

令和5年8月4日発行

8月3日~4日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部:臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・加古川市沿岸の調査地点①、②の着色はスケレトネマを主体とした珪藻によるものでした。しかし、魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンであるシャットネラ・アンティカおよびマリーナも発生し、注意体制値を超えています。活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・前回(7月31日)の調査でシャットネラ・アンティカおよびマリーナが警戒体制値を超えて発生していた調査地点H29では、シャットネラ・アンティカおよびマリーナの発生はわずかでした。
- ・赤潮の発生しやすい時期を迎えておりますので、引き続き海況や海色の変化にご注意願います。



シャットネラに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制: 10細胞/ml 警戒体制: 100細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制: 500細胞/ml 警戒体制: 5,000細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制: 50細胞/ml 警戒体制: 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オオタ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベリキュローサ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロノマ・アガオ
①	0	0	4	37	1	1	0	0	0
②	0	0	6	31	0	0	0	0	0
H29	0	0	10	0	0	0	0	0	0
	5	0	2.7	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0.7	2	0.7	0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は8月7日に定期調査(播磨灘)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-05-14号」として発行予定です。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 妹背、中桐)
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>